

## クレモナ、Cremona

ミラノから南東に 85 キロ。ロンバルディア平野に広がるクレモナ県の県都でポー川とアッダ川が交わる所に位置しています。肥沃な土地を利用した農業が盛んな地域です。クリスマスに食べられる代表的なお菓子トッローネはここクレモナのお菓子です。

市民の自慢はトラッツォと呼ばれるドゥオモの鐘楼で、イタリア一の高さ（111メートル）を誇ります。時計の付いた塔としてはヨーロッパの高さだそうです。トラッツォは先端まで登る（レンガの階段で 500 段弱くらいあります）ことができ、町全体を見下ろすことができます。町の一步外側からはどこまでも畑が広がっていて、ここが広大なロンバルディア平野に作られた街であることがよく分かります。ドゥオモの中も見ることが出来ます。非常に綺麗なフレスコ画が前面にあり、規模も大きくミラノのドゥオモまでは届きませんが、一見の価値があります。

このドゥオモとトラッツォが建つのがコムーネ広場で、周りには他にも洗礼堂やコムーネ宮殿等が建ち並び、カフェもあり、非常に美しい広場です。コムーネ宮の一部を利用しているカフェは、ドゥオモとトラッツォの正面に位置しているので、広場ではベストポジションです。ここでカプチーノとパニーニを食べましたが、6ユーロで、ベストポジションだけに比較的に高い値段でした。

クレモナはイタリアの中では特に有名な観光都市というわけではありませんが、ここには意外と多くの日本人観光客が訪れる町でもあります。その理由はここが 16 世紀以来の弦楽器製作の中心地だったからで、特に現在最高のヴァイオリンと言われるストゥラディヴァリウスは、クレモナの工匠アントニオ・ストゥラディヴァリの作品です。駅とコムーネ広場の間に、古い宮殿を利用した市民博物館があり、多くの宗教画（特に、古い教会の壁に書かれていたフレスコ画を保存して展示してあるものがすばらしい）とクレモナ派の絵画を見ることが出来ますが、そこには、ストゥラディヴァリ博物館も併設されていて、弦楽器の展示物も見ることが出来ます。

街全体に新しい建物がほとんどありません。ガリバルディ通りがメイン通りですが、そこにも、古い建物が並んでいます。ガリバルディ通りとコムーネ広場を結ぶ道はブランド通りとなっていて、小さなガレリアまであり、石畳の綺麗な通りです。ガリバルディ通りもブランド通りにも、カフェ等もいっぱいありますが、やけにお菓子屋さんが目立ちました。裏道もなかなか雰囲気が出ています。街めぐりはバスもありますが、街はそれほど大きくないので駅からずっと歩き回るほうが良いと思います。

## 写真：





クレモナへは、いつものロゴレドからの列車が便利です。マントヴァ行きに乗り、40分ほどで到着します。ロゴレドの次はローディで、5つ目がクレモナです。列車はほぼ1時間に1本くらいあります。料金は5.55ユーロです。帰りは、午後5時台のミラノ行きがありませんので気をつけてください。4時半の次が6時半になります。6時半で帰ってもサンドナートには8時に到着できますので、なるべく、余裕をもって帰りの列車を選んでください。クレモナの街はのんびりと観光する事を薦めます。